







## 民政黨の新政策

婦人參政比例代表  
改選年齢低下等に關して調査中で比例代表制度採用の必要なることは既に幹部間に意見の一致を見たるも其方法につき考究中であり婦人參政は専論有力であつて年齢の引下げは過般選舉の實績に鑑み一層選舉界を淨化する上へ於ても必要だと云ふので、議會には選舉権を二十歳まで擴張する案を提出する意向で目下考究中である。

政局一段落し  
政府は居据り腰  
一時議論を沸騰させた優謹問題  
もかたがつき政局も一段落を告げ政府は腰を据え、明年度豫算編成に入ることが明かになつた。民政黨も愈々持久戦と覺悟し結束を硬くして來議會に臨み一舉に難を決する意向なるも政府が飽く迄かちり付す義に出来る場合には議員を解散し、みちびき總選舉によつて多數を制し最後の勝利を獲得する方策らしい。

張學良奉天督辦就任  
張作霖の息張學良氏は六月十九日急ぎ奉天に歸り全日奉天代理督辦に就任したが同時に「滿州三省」には青天白日旗を掲げることをなさず、三省を獨立地帶となつてゐる。

滿州は獨立か  
張學良奉天督辦就任  
張作霖の息張學良氏は六月十九日急ぎ奉天に歸り全日奉天代理督辦に就任したが同時に「滿州三省」には青天白日旗を掲げることをなさず、三省を獨立地帶となつてゐる。

職工の扶助料請求  
社會局の新規認定  
工場内における職工の負傷の場合職工自身重くなる過失のあつた際には、負傷者が扶助料其他の請求に應ずる義務なしといふ工場法の一項につき此度新らしい規定が行はれた、事實は東京市外南千住町合同組合株式會社に就勤中の關口芳造(十八)が仕事に完成する等で専二重橋前は此際認定が行はれた、事實は東京市外南千住町合同組合株式會社に就勤中の關口芳造(十八)が仕事に完成する等で専二重橋前は此際

終了後作業場で同僚とストップに凭れ談話中、突然に転倒し右手に重傷切断手術を受け爲めに扶助料を請求したが會社側では此に應せず遂に警視総監の認定を仰ぐに到り警視廳ではこれを内務省社會局長官に間合せた所

白瓦は瓦の素地に化粧粘土をぬり釉薬をかけて千二百度乃至二三百度の温度で焼いて作るのでは瓦の面に純白色は中々出なかつところ今度之に成功したのである。

坐はれるやうに

急行列車増發

大阪神戸間に五往復、東京下關間に三往復の急行列車を運轉し更に乗客の多い季節には午後九時十分東京発大阪行不定期急行列車一往復を運轉するが、乗客が次第に増加し横濱驛以後の乗客は殆んど長距離を車中立切りの状態に在り、世間から非難的となつてゐる様である。

相談に應じます。

各 位

原 田 敬 太

望されますから今回又ブレシデンテ・ヴエンセラウ驛より五キロから十五キロにいたる珈琲地帯参千アルケーレスを賣出す事になりましたから驛近くを御希望の方は可成早く御観察を御勧め致します。

● 告

各位御清榮奉賀候降つて私事別紙廣告の通りブレシデンテ・ベルナルデ驛第一回賣出しを行ひ第一回となりました。

普雷シデンテ・ベルナルデ驛第一回賣出しを行ひ第一回となりました。



毒矢

〔一〕  
『麗らかさしきりに  
錢が欲しくなり』

それにつけても金の欲しさよ  
とかこつ現代人の心をさもし  
と云ふ事は誰にも解らない謎で  
等とけなす前に、そんなに金を  
有り難がる世の中を探ぐつて見  
よ。

報徳主義の二宮翁を慕ふ分限  
者勤儉貯蓄を紳士道と心得て居  
た四五百年前の歐洲の金持達が  
今日の物質文明の礎を固めた。

所が今の資本家・節制を道德

的責任だと考へる様な唐突木は  
先づ無からう。百を節するより

も二百を散じて五百を儲けやう  
と云ふので昔の節約の本家が今

の費澤濫費の親玉と化けた

フアゼンデーロの忤とコロノ  
の子とは釣鐘と提灯ほどの差が

あるどうせ喧嘩にやならぬと諦

めて居る中は無難だ。或る物識

りの話では『成年労働者十人の中、社會に必用な品物を作らるものは一人だけで残る九人は金持の費澤を充々役目をしてる』と

此等が近頃資本家無用論なんて

熱の上の根をなして居る。

日本政府は費澤をする奴に税

税するとは怪からん、即ち消費

生活の防衛、經濟秩序の破壊だ

と力むが政府の役人の考へた贅

富は何だ奢侈税なんて今日の文

明人に必要不可缺の品物まで課

ふ金を生活必需品の生産に向け

たらと云ふのが奢侈税なんであ

ると政府は説明する。

一方社會主義だとマックス

差がからうまでヒドくなるのは今

の社會組織が悪いからだ、宣し

く不壊して仕舞はにやと體太

日本では明治維新後、歐洲で

鼓刷り物口説で奔命して居るが  
結構世の中がどう進んで行くか  
と云ふ事は誰にも解らない謎で  
あらう。

この邊までを総論として現に  
活動して居る資本主義だと云は

れてる經濟組織の根本に就いて  
見る。

『泥棒を押へて  
見れば吾子なり』

では辛くて勘當、甘くてお袋

の口説き涙でけりが着くのは法

律でその家族の者が家の物を持

ち出しても罪に問はないからで

ある。一家族中一人がロツタリ

ーに當ればその家族はみな御馳

走がふんだんに喰へる事になり

家庭全員が貧乏せん限りではそ

の中一人が貧して居るとは云へな

い即ち家族の中は貧富に對して

濟を營んで居ると云ふのが日本

人の家庭である

所が一步浮世に出て見る。

アゼンダの中に何百かのコロノ

が居る、中に病人が多くて借金

の呂むのがあるとすれば加何に

耕地が富んで居てもその耕地全

体が幸福だとは云はれない

コロノが病まうが死なうが仕

業の社會と云ふ

その邊から私有財產制度と相

繫制度が出来、生れながらに財

産のある奴と脛一本の男とが岐

ふだけの金を拂はへば他の事に

日本はとても急流だと云ふの

で近來ぞくぞく移住して来る。

ブランチがやすく腕次第で金

を遊がにやならない

日本はとても急流だと云ふの

で近來ぞくぞく移住して来る。

ブランチがやすく腕次

リオ税關の大疑獄

監督官以下多數かく首  
リオ税關の收入は近年著しく増  
加し聯邦政府にとつては重要項  
目をなしてゐるが此程其監督官  
が不正を働いたこと暴露し大問  
題を惹起した、發覺の動機は在  
リオ織物輸入商のうち或數軒は  
其輸入品を破格な安値で賣てる  
に反し他の商人はどうしても斯  
かる値段では採算不可能なると  
の結果税關に於て脱税或は極く  
僅かな關稅を支拂つて輸入して  
ころより段々手を廻はして調査  
に反し他の商人はどうしても斯  
かる値段では採算不可能なると  
の結果税關に於て脱税或は極く  
僅かな關稅を支拂つて輸入して  
わたことが判明し遂に之が表沙  
汰になつたのである、これによ  
り藏相ボテリヨ氏は大いに驚  
き病後の体をおしてファントン  
大統領と急遽凝議の結果税關監  
督官ソーザ・ガルグス以下高  
級官吏を罷免しリンドルフォ。  
カマラ氏を後任として税關内の  
一大弊瀆をはかることになつた  
聞くところによればガルグス  
氏が在職中諸商八人を結託して密  
輸入を行つた額は莫大なもので  
脱税默許による不正收入金は或  
は意外な方面へ流用されてゐる  
のではなくらうかと噂されて  
いたが現ミナス州統領アントニオ  
カーロス氏の藏相時代に監督官  
に任命され其乾分である關係上  
久しい前から移住組合へ土地を  
賣り付け旨い汁を啜はふと羅氣  
になつて運動して居たノロエス  
のサントスジユニオル、續末  
雄、相馬速などは先頭商談が破  
れたので青くなつてしまひ、中  
でもサントスジユニオルの如き  
は柄にもなく大物に手を付けた  
ため聖市市議士連にスッかり  
喰はれてしまひ、あの儘商談が  
復活しても尙五十コントスの持  
出になる模様で續や相馬や海興  
の某社員などへ分け前が行く段  
の話で何れも旅費宿錢の九  
損で泣き面に蜂殊に滑稽なのは  
ユキア線日會は解散した、後で

後家を妻同様にして入浸り平た  
い鼻の下を三寸ほど長くしてヤ  
ニ下て居た、さてこれから宿屋  
うどん屋の拂ひをせねばと四苦  
八苦パタック光景から今までの  
カラクリは次号から

相馬連で備かりもせぬ先から某まで所々に出来た模様

●開けゆくセントン

北西線

アフナツーパ、ビラグキ、グリ

セリオ及びベンナボリス郡内に

は未だ電話なく之等地方が急激

に開発された昨今住民は大いに

不便を感じてゐたが今度ヨン

セルナツハと云ふ一企業會社が

州政府から廿ヶ年の電話架設権

をうけて近々中に架設工事に着手

手することになった、此調子で

行つたらアリアンチ通りに電燈

の灯のもと二三年の内

に寒氣加はり寒暖計は六度前後

へ帳面を渡したが四月の天長節

皆で呑んだり喰つたりしたのは

其儘になつてゐるダラシ無さであ

る、呑んだり喰つたりもよいか

寄附金の使途は明らかにする

こと

●中野書記生轉任

一時沙汰

止みと噂されて居た中野書記生

のバウル轉任も其後外務省でバ

●金融状態調査 東拓社員田

淵勤氏は外務省の嘱託を受け在

伯邦人集團地方の金融状態調査

の爲めナントス丸で來伯宮下奥

よ／＼三十日の夜行で就任の由

間では聖市總領事館の江越技師

出席辯士は農事部から二三人と

ウル領事の要請を取り上げ下さい

は零下五度に下つた、未だ何等

情報はないが昨夜並に一夜寝は

無風狀態であつたが幸にもイン

示しカンボス・ショルドン邊

は零下五度に下つた、未だ何等

情報を得てゐるが昨夜並に一夜寝は

無風狀態であつたが幸にもイン

示しカンボス・ショルドン邊

は零下五度に下つた、未だ何等

情報を得てゐるが昨夜並に一夜寝は</

# Nianak Shimbun

27 de Julho de 1928 N.586

年三月七日 二八五號 六月七日

## 水戸黄門 全國漫遊記

「二」 渡邊迷波

さてその翌日になれば次兵衛は破れ襦袢に綿服を纏ふて広へ煙草や頬被りを致して頻りに鍼仕事を致して居ります。するといつもの通りお乗物が進んで参りましてお供の衆は「下にく」

と聲を掛て居りますが

次兵衛は前方をむひて金壁の様

に素知らぬ顔をして仕事をして

居ますから二三への家来がバ

ラーッツと走り來つて

家「こりや／＼百姓、先刻から

下にと／＼申してゐるのに、何故下に居らぬ無禮者めが……彼

は漸やく振り返つて

次「エヘニそりや先刻から聞

えて居まするが今朝時をしてゐ

るところ下でどうも一日に何遍も

頭を下げて居ります事だけはお

断りを致します」

家「黙れッ無禮なことを申すや

つた御領士様、御通行遊すのに

なんと云ふ冒犯なことをぬかす

のだ」

次「イヤ、無禮ぢやござりませ

ん、朝か、晚まで、殿様が何遍

もこの體をお通りになりますと

家「ナニ……此奴無禮なことを

申す奴」

家「家の面々は既、打ち据え

んと致しまするのを、お駕の内

より御覽遊ばし、る光圀公

べ」

と云ふ仰せなので、ハット客

て、家來は次兵衛を致し

てはならぬぞ其處を目通りへ呼

ぶの中より熟々御覽遊ばして

あるが必ず明日は予の屋敷へ出

く参つて呉れな」

光「こりや／＼そちは何う致し

たのじや」

次「ハイ恐れながら御領主様へ

申し上げます、一年の間に何遍

さうか、イカしこまりま

申し上げます、一年の間に